-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、東京女子医科大学附属足立医療センター救急医療科では、本学で保管している診療後の診療情報を用いて、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報を「この研究課題に対しては利用して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名]　ICU 患者におけるペクチン含有経腸栄養製剤使用後の下痢改善率：単施設後ろ向き観察研究

[研究対象者]

2022年1月から2026年3月までの間に、東京女子医科大学附属足立医療センター救命ICUに入室し、経腸栄養中に下痢を認め、その対応としてペクチンを含む経腸栄養製剤へ変更された18歳以上の方

[利用している診療情報の項目]

診療情報等：年齢、性別、身長、体重、病名、ICU への入室理由、既往歴・併存疾患、重症度、人工呼吸器・昇圧薬・腎代替療法の使用状況、血液検査結果、経腸栄養の内容・投与量・投与方法、使用薬剤、感染症に関する検査・治療内容、排便回数、便の性状、便量、経腸栄養製剤変更後の経過

[利用の目的]　（遺伝子解析研究： 無 ）

経腸栄養中に下痢を認め、ペクチンを含む経腸栄養製剤へ変更された患者さんについて、製剤変更後72時間以内にどの程度下痢が改善したかを明らかにすることを目的としています。また、下痢が改善した患者さんと改善しなかった患者さんの特徴についても検討します。

[研究実施期間]　倫理審査委員会承認後より2027年8月までの間（予定）

[この研究での診療情報の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学　理事長　清水　治

研究責任者：東京女子医科大学　救急医療科　教授　庄古 知久

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学附属足立医療センター　臨床栄養部　菅 智行

電話：03-3857-0112（内 31527）（応対可能時間：平日9 時～16 時）